



当社取扱商品

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
寺鼻 伸治

【企業理念】つながるすべての人に笑顔と幸せを届ける

株式会社寺畜は、食肉の仕入れ先や納品先である問屋、そして当社が扱うお肉を食べる一般消費者を含むサプライチェーン全体の幸せを願い事業展開を行っています。
 今後は、当社が扱う日本の「安全・安心・美味しい」お肉を、国内及び国外に流通させていきたいと考えております。さらに、新工場の設立や従業員の待遇改善に積極的に投資することで、大切な社員と共に当社の掲げるビジョンを達成します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年7期の売上高達成に向け、思い切った設備投資と国外への販路拡大等によりCAGR15%程度の成長を目指す

※売上推移のグラフは次ページに記載

課題

- ①「ブロック肉」への加工工程を外注しているため、取引先からの細かな依頼に対応出来ていない
- ②HACCP等の規格を未取得ため、販路が国内のみとなっており、売上が頭打ちになっている
- ③売上拡大に伴う人材確保

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

○売上高100億達成のための具体的措置

- ①外注している加工工程を内製化する
- ②HACCP等の規格を取得し、販路を拡大させる
- ③人材確保及び従業員の賃上げ

実施体制

○社内体制

- ・売上100億達成に向けたプロジェクトチームを発足
- ・加工工程の内製化に伴う加工人員の早期育成

○社外体制

- ・食肉加工に精通する人材を顧問として採用
- ・ガバナンス強化、改善のため社外取締役の導入

- 本社所在地：兵庫県加古川市
- 事業概要：食肉卸売業
- 常時使用する従業員：3名（2024年7月期）
- 現在の売上高：27億円（2024年7月期）
- 法人番号：6140001103105
- Web：Webなし

自由記載（例：売上高100億円実現に向けた具体的措置）

○具体的措置①：外注している加工工程を内製化する

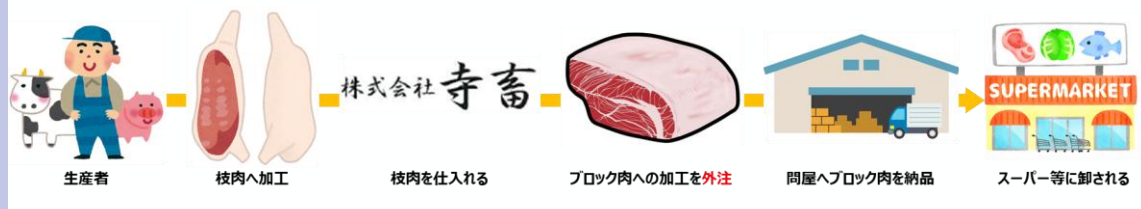
現在当社では、下記図のとおりブロック肉への加工工程を外注している。外注先の納期面や技術力の問題から、納品先からの細かな要望に対応することが出来ていない。新たな設備投資により、加工工場と付随する設備を導入することで、外注工程を内製化し、取引先からの細かな要望に対応する。より多くの商品を短納期で展開することで、1社あたりの売上増加を狙う。

○具体的措置②：HACCP等の規格を取得し、販路を拡大させる

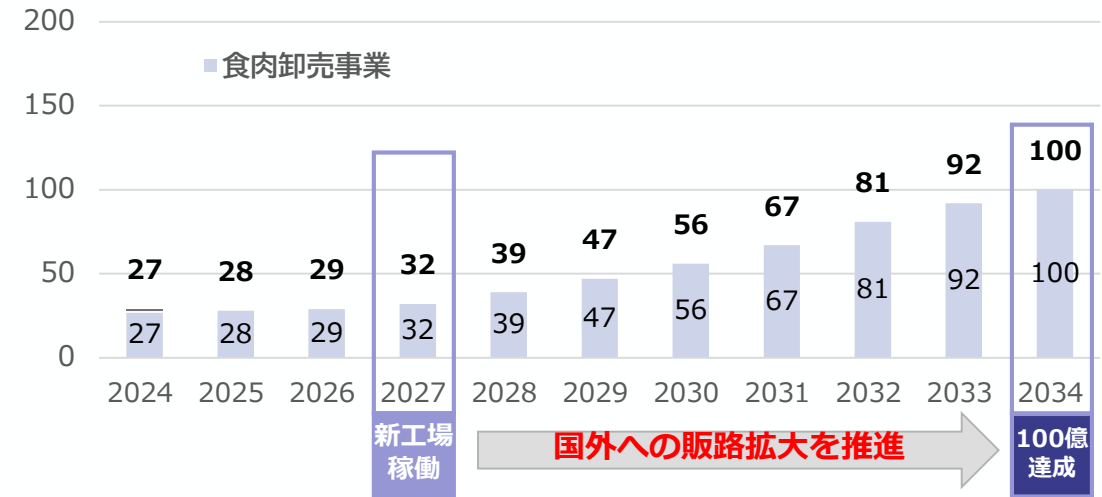
現在の外注先では、建物や設備の老朽化によりHACCP等の規格を取得することが出来ていない。そのため、食肉の輸出が出来ず、販路が国内のみに限定されている。食肉の輸出は需要が高く、政府は2030年までに牛肉輸出額3,600億を目指している。当社でも売上高100億の達成及び国の施策への貢献を目指し、前述の設備投資によるHACCP等の規格取得を進め、国外への販路を拡大させる。実際に輸出業者と既に連携を進めており、規格取得後は台湾を皮切りに事業を展開する予定である。

○具体的措置③：人材確保及び従業員の賃上げ

100億円の実現には、成長を支える強固な組織づくりが欠かせない。そのため、優秀な人材の採用や定着率の向上を目指し、積極的な賃上げを実施する。また、外注していた工程を内製化するには、加工工程に従事する人材の雇用が必要不可欠である。人材雇用については「ウェブサイトやSNSの活用」「福利厚生充実」「地域イベントや求人フェア」等複数の施策を展開する。さらに、社内インフラの整備を進めることで、生産性の向上を実現する。生産性の向上及び賃上げを実現し、モチベーションを維持しつつ、新規雇用の安定化等を図る。



売上高推移



【プロジェクト推進体制】

